

# 2023年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

株式会社ファインデックス

2023年5月



本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

また、予想・計画等の更新または修正が望ましい場合においても、当社は本資料の情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等を基に投資判断を下すことにより生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は株式会社ファインデックスに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

当資料のグラフ・表などで表示されている数値は、一部で端数調整のため切り上げ・切り捨てを行っています。

- 医療業界では業務効率改善、診療情報管理・利活用の流れを受け、良質な医療サービスの提供が求められ、**患者連携クラウドシステムへの投資意欲が高まる**
- 第1四半期業績は、**通期業績予想達成に向けて計画通りに推移**

売上高	<b>1,251</b> 百万円 (前年同期比 -1.0%)
営業利益	<b>288</b> 百万円 (前年同期比 -22.2%)
当期純利益	<b>199</b> 百万円 (前年同期比 -22.9%)

- ・ 減収減益となったが、「収益認識に関する会計基準」適用の影響が大きい。
- ・ 市場環境は追い風が継続。医療現場における働き方改善等に加え、患者動線进行操作するオペレーションシステムへの投資も増える傾向。
- ・ 業績見通しに対し順調に推移。期初に公表した見通しに変更はない。1Qの計画進捗率は、上半期計画比で売上高 58%、営業利益 88%、通期で売上高 24%、営業利益 22%と順調。

# 第1四半期業績 セグメント別の動向

(単位：百万円)	23/12期 1 Q	前年 同期比	22/12期 1 Q
<b>売上高</b>	<b>1,251</b>	-1.0%	1,264
医療ビジネス	<b>1,179</b>	-1.3%	1,195
公共ビジネス	<b>35</b>	35.1%	26
ヘルステックビジネス	<b>36</b>	-15.4%	43
<b>売上総利益</b>	<b>714</b>	-9.6%	791
<b>営業利益</b>	<b>288</b>	-22.2%	370
医療ビジネス	<b>297</b>	-30.2%	426
公共ビジネス	<b>3</b>	-	-12
ヘルステックビジネス	<b>-13</b>	-	-43

## 医療ビジネス

- 営業利益の減少は「収益認識に関する会計基準」適用による影響が大きい
- パッケージ販売に注力
- 病院+19件、診療所+22件の新規・追加導入

## 公共ビジネス

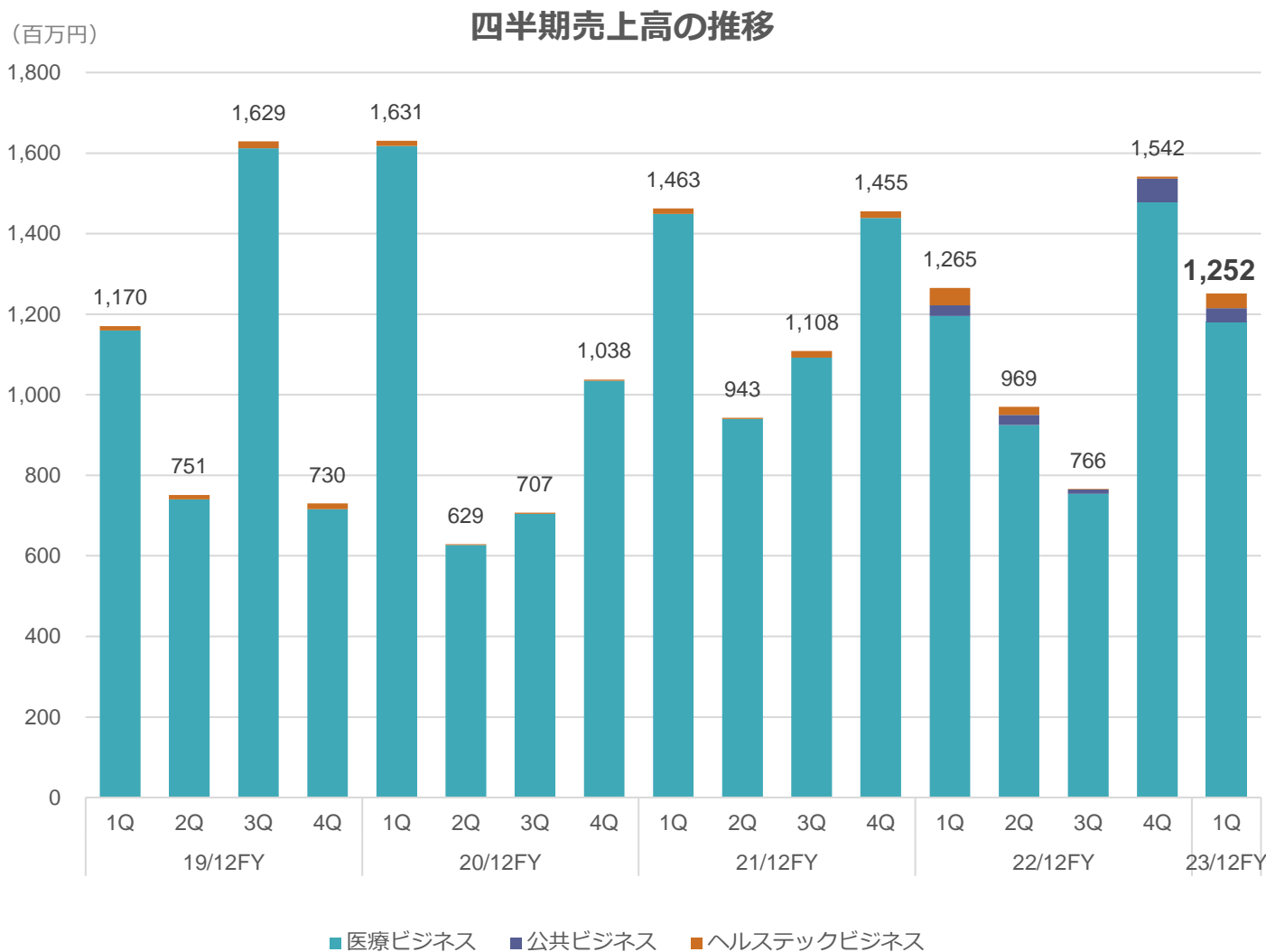
- 自治体向け、医療機関バックオフィス向け共に好調。累計導入実績は自治体向けが24件、医療機関が5件
- 22/12期より営業黒字

## ヘルステックビジネス

- EMC Healthcareが持分法適用会社となったことで、赤字幅縮小。1 QのGAP/GAP-screenerの国内出荷は11台

※ 22/12期より収益認識に関する会計基準を適用。表は適用後の金額

※ 23/12期よりセグメント変更。22/12期にセグメントを遡及して修正。21/12以前は医療ビジネスに包含。数値は未監査

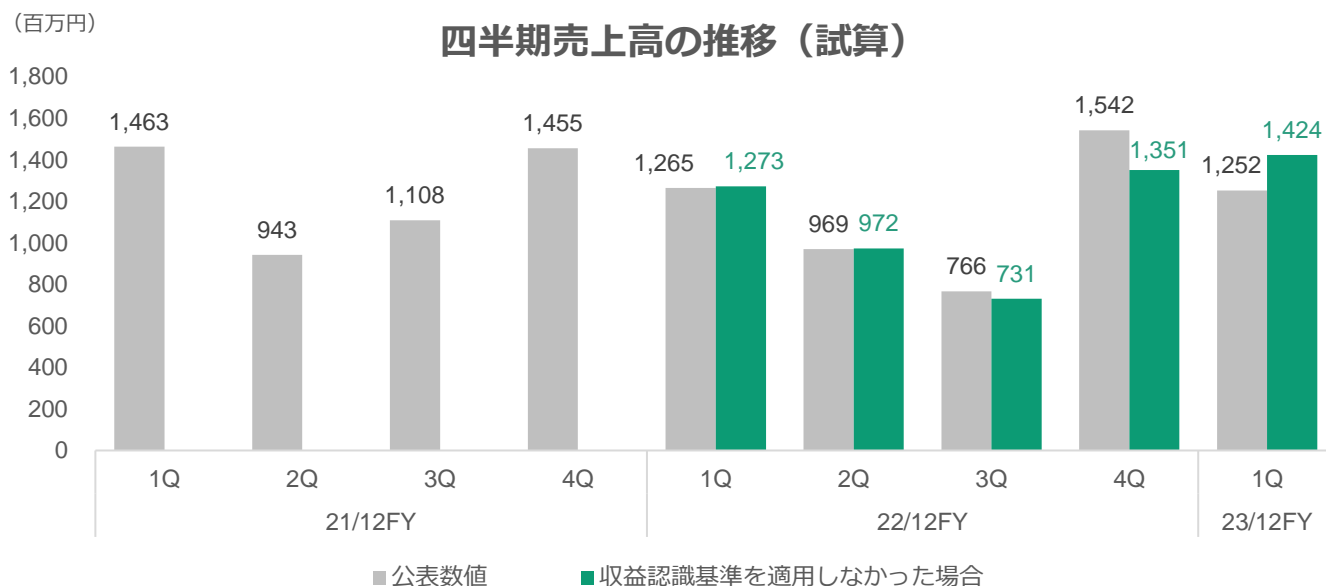


- 23/12期 1 Qの売上高は、「収益認識に関する会計基準」適用に伴い前年同期と同水準。会計基準適用に伴う売上計上時期の影響が大きい。
- 行動制限などのあったコロナ禍に比べ回復傾向が続く。
- 医師・医療従事者の働き方改善や、病院内オペレーション効率化に向けた診療支援システムへの投資意欲も回復。
- 新セグメントの公共ビジネスも順調な立ち上がり。
- 検収時期の集中等があり、「収益認識に関する会計基準」を適用した後も4Q偏重の季節要因は残る。

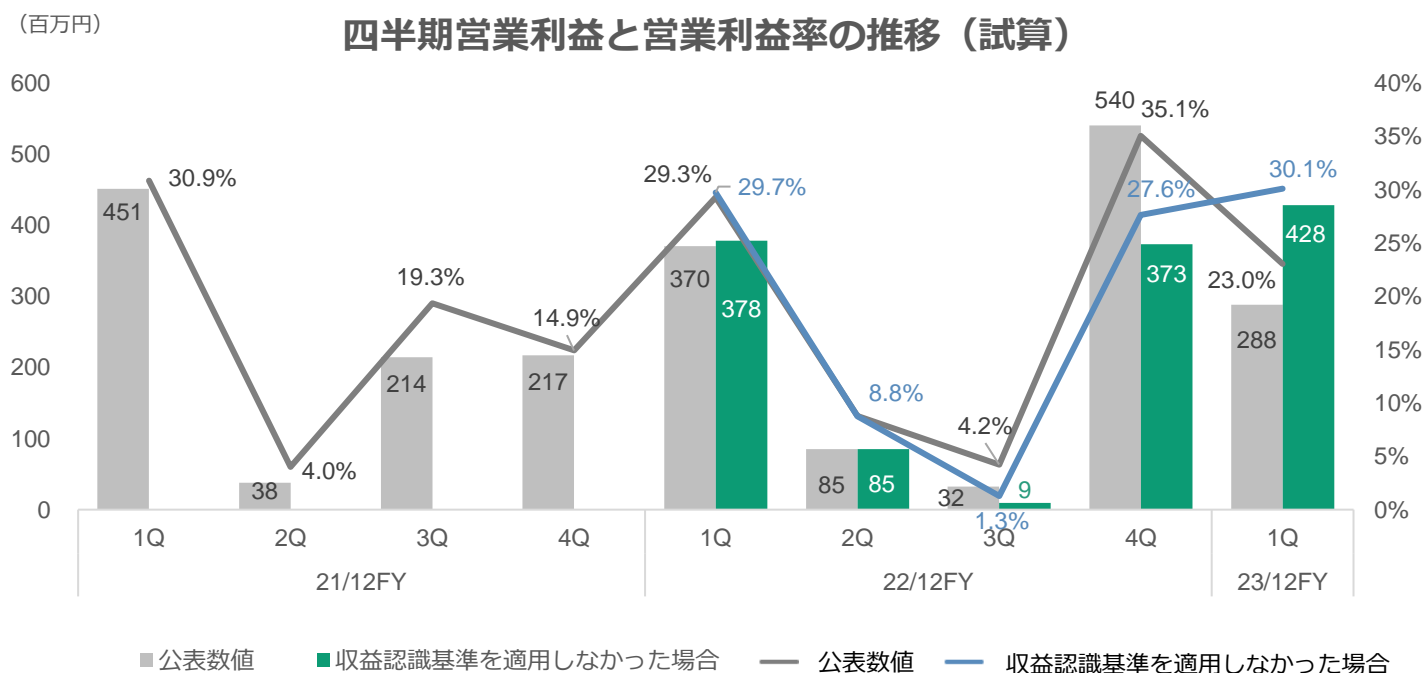
※ 22/12期より収益認識に関する会計基準を適用。グラフは適用後の金額

※ 23/12期よりセグメント変更。22/12期はセグメントを遡及して修正。21/12以前は旧来のシステム開発事業（医療ビジネス+公共ビジネス）。数値は未監査

# 「収益認識に関する会計基準」への変更の補足



- 収益認識に関する会計基準適用前の旧会計基準で試算すると、**23/12期 1Qは12%増収、13%営業増益**となる。
- 23/12期 1Qは、収益認識基準適用に伴う売上高の計上時期の影響が大きかった。すなわち、22/12期 4Qに売上認識した額が大きく、その分23/12期 1Qに計上された売上高が少なく見える。



- 各前4Qに計上された(前取)金額は  
**売上高で**  
22/12期 1Q : 35百万円  
23/12期 1Q : 251百万円  
**営業利益で**  
22/12期 1Q : 29百万円  
23/12期 1Q : 210百万円
- 23/12期 1Qの業況は良好であり、売上高は順調に推移していると判断できる。
- 収益認識に関する会計基準適用前の旧会計基準でみると、営業利益率は30%となり、22/12期 1Q及び4Qと同等のレベルが維持されている。

# 四半期毎の売上総利益の推移

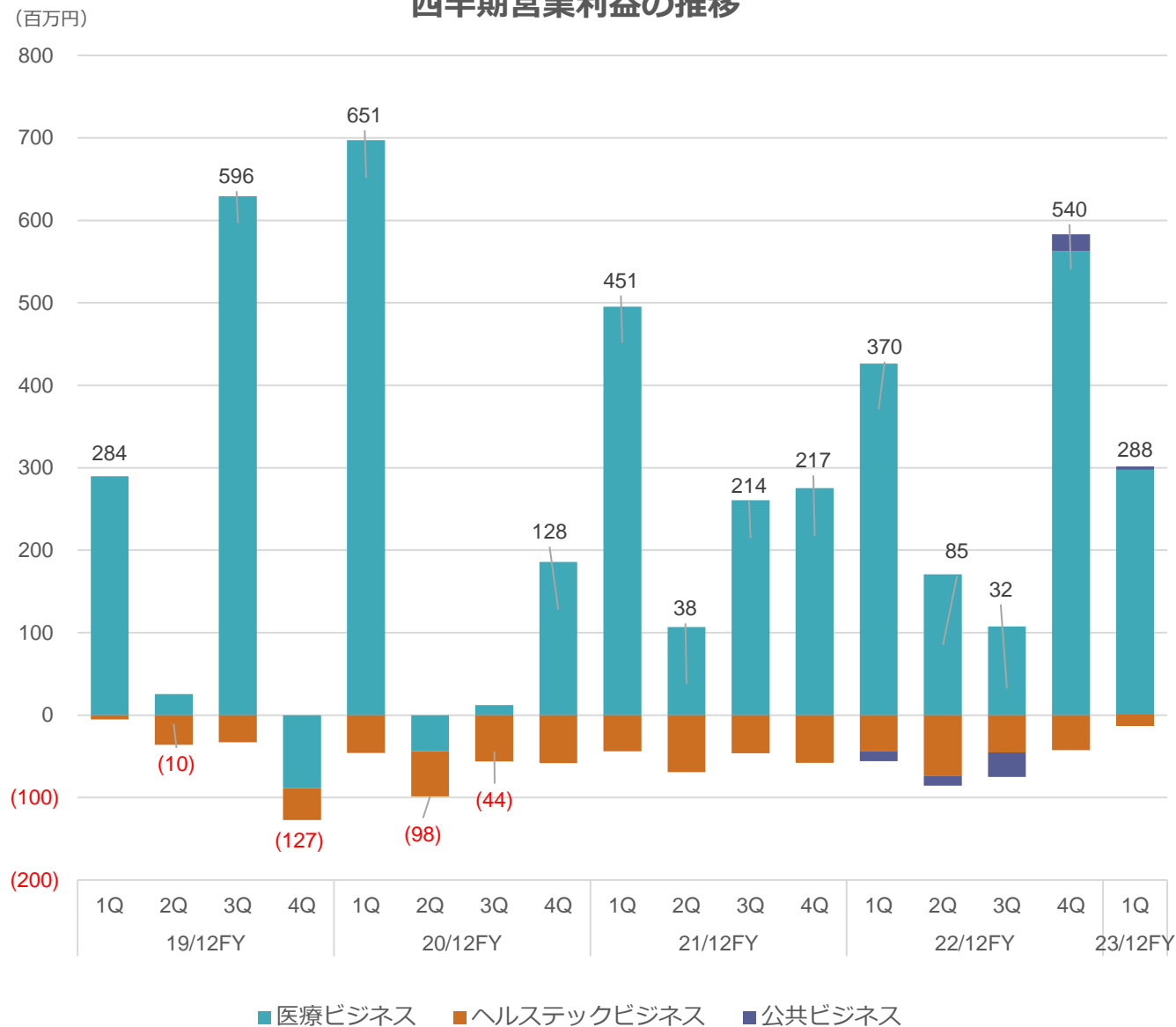
## 四半期売上総利益と売上総利益率の推移



- 高水準の売上総利益率を維持
- 収益認識に関する会計基準の適用により、23/12期1Qの売上総利益は前年同期及び前期比で悪化して見えるものの、高水準を維持。
- パッケージ製品の代理店販売及びクロスセルの拡大などが貢献。

※ 22/12期1Qより収益認識に関する会計基準に変更。

## 四半期営業利益の推移



### 医療ビジネス

「収益認識に関する会計基準」適用による影響が大きく、営業利益が減少。

### 公共ビジネス

2022/12期4Qに黒字化し、黒字を継続。

### ヘルステックビジネス

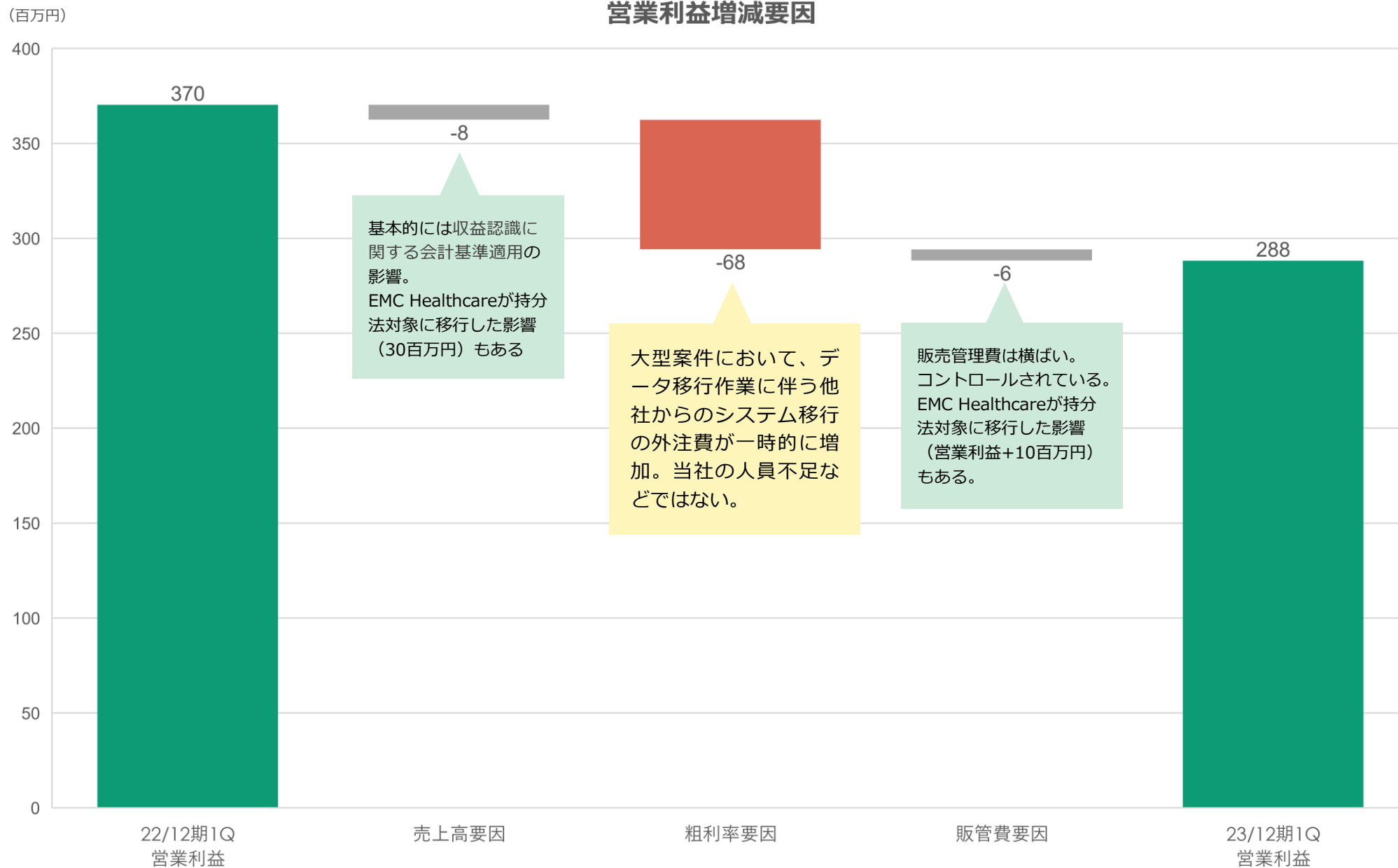
赤字幅は縮小。

※ 22/12期より収益認識に関する会計基準を適用。グラフは適用後の金額

※ 23/12期よりセグメント変更。22/12期はセグメントを遡及して修正。21/12以前は旧来のシステム開発事業（医療ビジネス+公共ビジネス）。数値は未監査



## 営業利益増減要因



- ・ 1Qは概ね計画通りに進捗した
- ・ 期初に公表した業績予想に対して利益は対上半期で9割程度、対通期で2割程度の進捗

(単位：百万円)

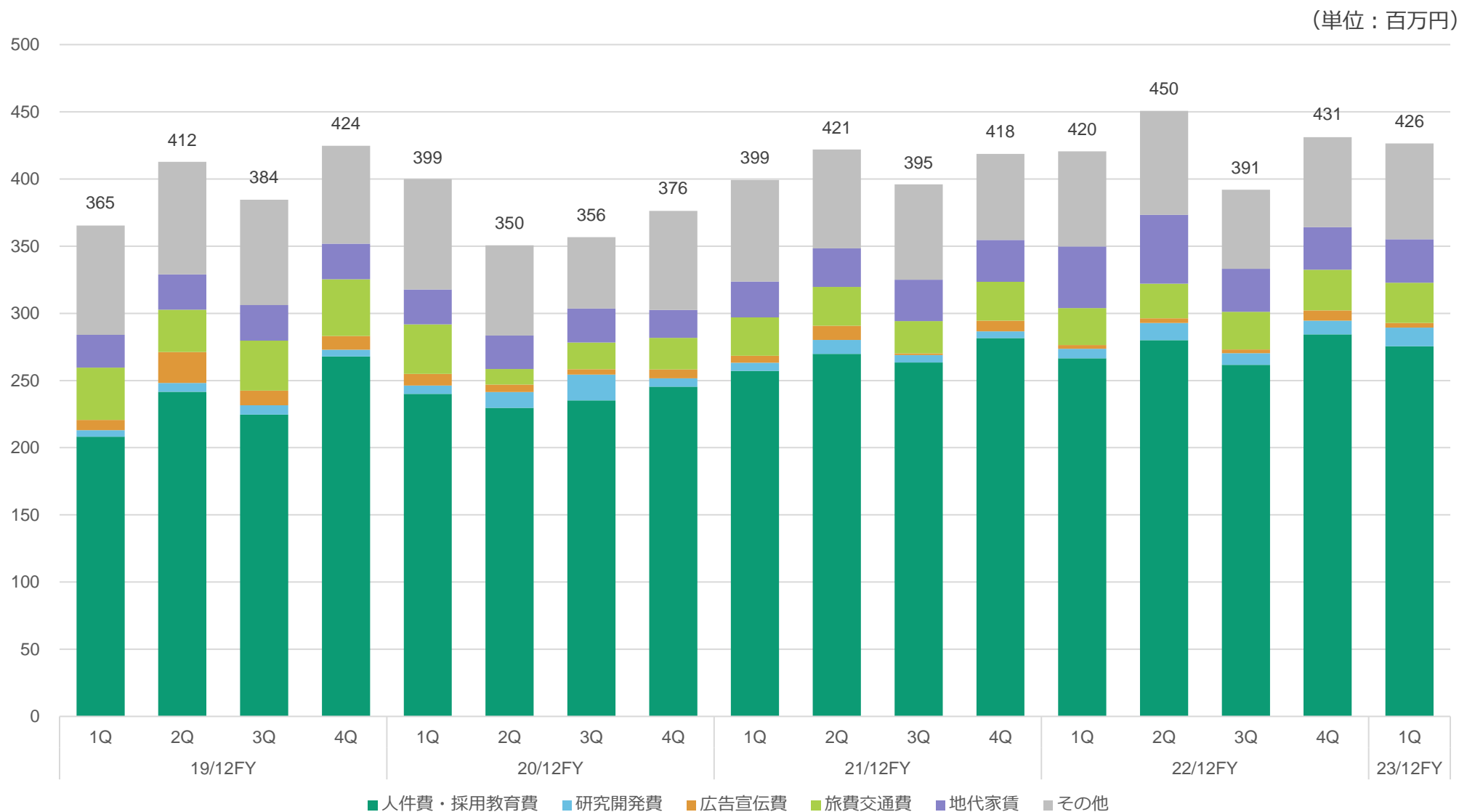
2023/12月期	1Q実績	上期計画	予想進捗率	通期計画	予想進捗率
売上高	1,251	2,145	58.4%	5,065	24.7%
営業利益	288	322	89.5%	1,313	22.0%
経常利益	292	329	88.8%	1,330	22.0%
当期純利益	199	228	87.5%	923	21.6%

(参考)

(単位：百万円)

2022/12月期	1Q実績	上期実績	1Q進捗率	通期実績	1Q進捗率
売上高	1,264	2,233	56.6%	4,541	27.8%
営業利益	370	455	81.3%	1,028	36.0%
経常利益	381	481	79.2%	1,055	36.1%
当期純利益	258	319	80.9%	722	35.8%

・ 販売管理費はコントロールされており、横ばい圏で推移



・ B/Sに大きな変化はない

・ 自己資本比率は82.5%と高水準を維持

(単位：百万円)

	22/12期	1 Q 23/12期		
	金額	金額	増減	主な要因
現金及び預金	2,414	2,469	55	利益の積み上がり
受取手形、売掛金、契約資産	1,361	1,261	-100	契約資産の減少
商品及び製品、仕掛品	169	193	24	
原材料及び貯蔵品	147	146	-1	
その他	37	20	-17	
<b>流動資産合計</b>	<b>4,128</b>	<b>4,090</b>	<b>-39</b>	
有形固定資産	103	106	3	
無形固定資産	251	253	1	
投資その他の資産	498	486	-12	
<b>資産合計</b>	<b>4,981</b>	<b>4,934</b>	<b>-47</b>	
<b>流動負債合計</b>	<b>654</b>	<b>571</b>	<b>-83</b>	未払法人税の減少
固定負債	284	281	-2	
(うち長短有利子負債)	0	0	0	
<b>負債合計</b>	<b>938</b>	<b>853</b>	<b>-85</b>	
純資産	4,043	4,081	38	
株主資本	4,039	4,072	33	
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,981</b>	<b>4,934</b>	<b>-47</b>	

## 期初に公表した通期業績予想に変更はない

- ・ 医療ビジネス・公共ビジネス・ヘルステックビジネスの3本柱で事業を展開
- ・ 引き続き利益率の高い製品・サービスを展開し、営業利益・経常利益率の向上を目指す

（単位：百万円）

	2022年 実績	2023年 業績予想	
	金額	金額	対前期（増減率）
売上高	4,541	5,065	+11.5%
営業利益	1,028	1,313	+27.7%
経常利益	1,055	1,330	+26.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	722	923	+27.8%
1株当たり純利益金額（円）	28.21	36.03	—
1株当たり配当金額（予定）			
中間配当（円）	3.00	4.00	—
期末配当（円）	6.50	7.00	—
年間配当金合計額（円）	9.50	11.00	—

# 參考資料

## 報告セグメントの変更

- 「システム開発事業」と「ヘルステック事業」を「医療ビジネス」「公共ビジネス」「ヘルステックビジネス」の3つのセグメントへ変更

## 新部署の設置

- 「病院ソリューション部」内から医療機関を対象とした「コンサルティング部」を新設
- 「事業戦略室」内から自治体や公的企業を対象としたシステム事業を切り離し、「公共ソリューション部」を新設

## 組織改正

- 「システム開発部」を既存製品の開発・改良部門と、新製品の企画・開発部門とに分割し、「パッケージ開発部」及び「企画開発部」に分割
- 「医療ソリューション部」からお客様の問い合わせに対応する部門を切り離し「カスタマーサポート部」を新設

## 新たな人事制度の導入

- 所定労働時間を1日あたり8時間から7.5時間、1週間あたり40時間から37.5時間に変更
- 国内遠隔地・海外移住者を対象としたフルリモート勤務制度の設定

## 中期経営計画「Vision for 2025」の修正

## 譲渡制限付株式報酬制度の導入

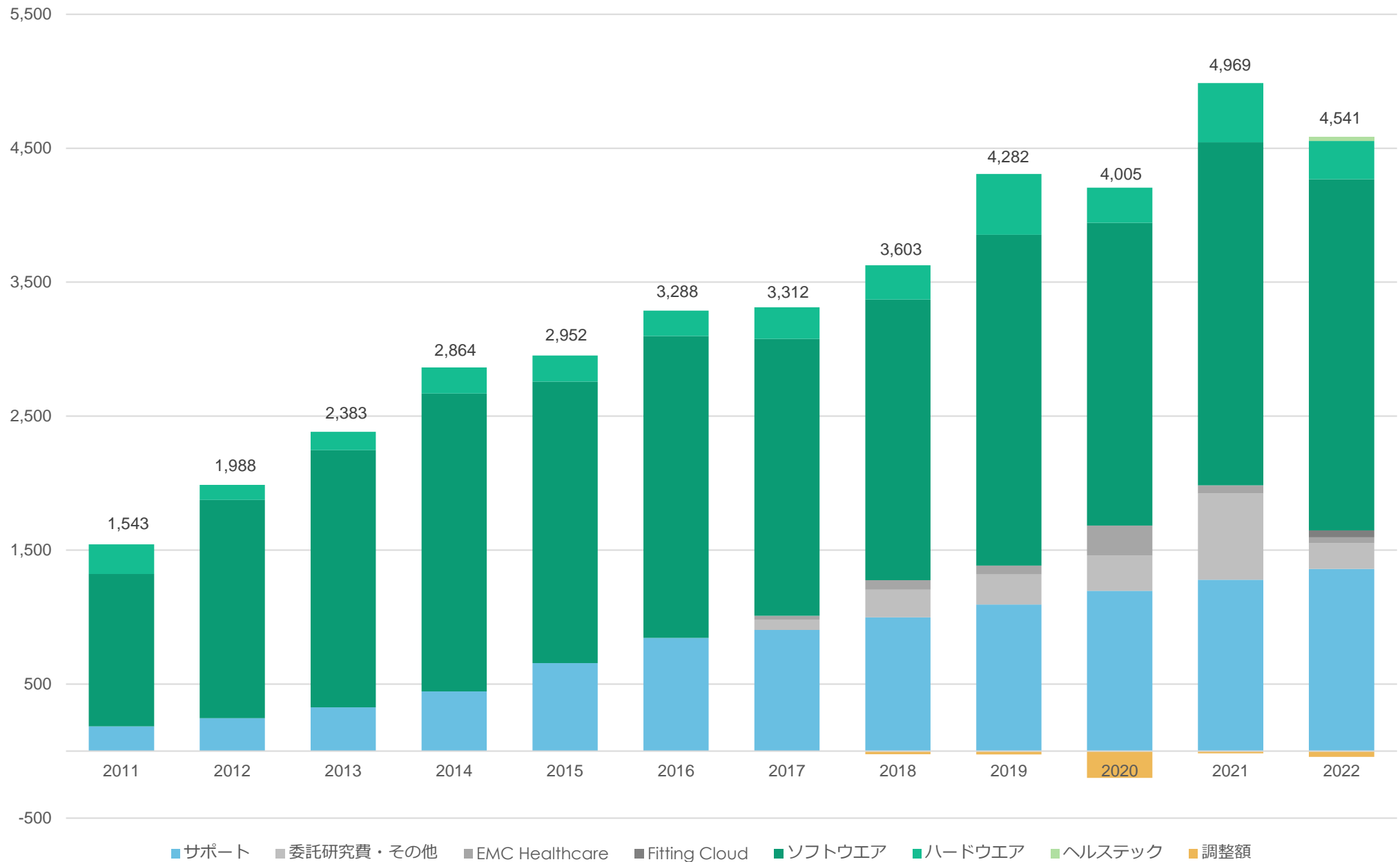
## フィッティングクラウド株式会社より、新たな製品を3つリリース

- Weberi（ウェベリ）： インターネットブラウジング仮想化サービス
- Bricks（ブリックス）： クラウド型汎用EDC/問診票システム
- Valloon（バルーン）： クローズドクラウド型データストレージ

## 「AAAdE-Report」を共同開発

- 医療機関と近隣薬局を情報で繋ぐトレーシングレポートサービスを京都大学医学部附属病院、株式会社メディセオと共同開発  
※株式会社メディセオは共同開発をサポート

(単位：百万円)







全国国立大学病院のシェア

75.0 %

400床以上の大規模病院導入率 = 38.3%

その他の病院・診療所ユーザー ▶ 1,500以上

※2018年度診療報酬改定に伴い、大規模病院の定義が、500床以上から400床以上へ見直されたため、2023年より400床以上で算出

※2021年通期決算発表分より、売り切り製品（サポートフリー製品）を含めずにユーザー数を算出

参照：厚生労働省 令和3年医療施設（静態・動態）調査・病院報告の概況

（2023年3月末現在）

(単位：施設)

規模	2022年末	2023年 1Q	増加数※
大規模病院（400床以上）	288	290	2
中規模病院（100～399床）	309	314	5
小規模病院（20～99床）	84	82	-2
診療所（20床未満）	1,176	1,188	12
その他医療関連施設	19	19	0
非医療機関（法医学教室や研究所等）	10	10	0
地域包括ケア関連	25	26	1
<b>合計</b>	<b>1,911</b>	<b>1,929</b>	<b>18</b>

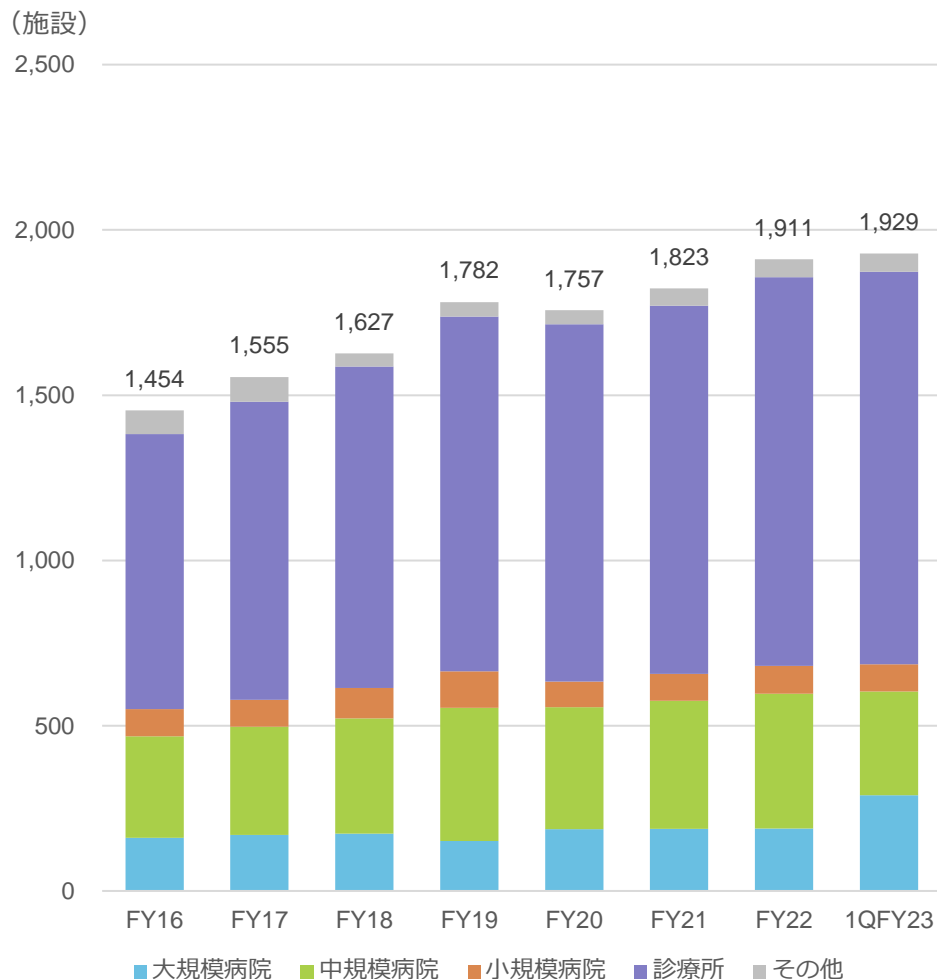
※2018年度診療報酬改定に伴い、大規模病院の定義が500床以上から400床以上へ見直しされたため、2023年より400床以上で算出

※2021年通期決算発表分より、売り切り製品（サポートフリー製品）を含めずにユーザー数を算出

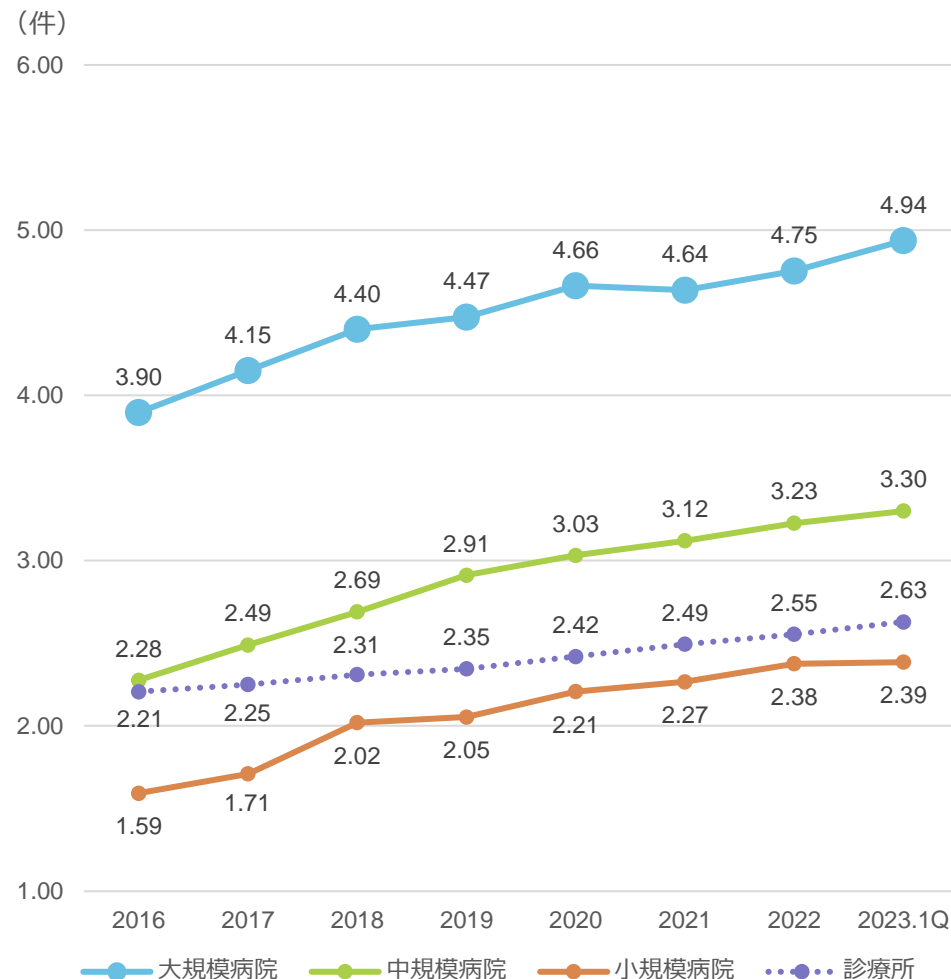
※増加数は「新規ユーザーの純粋増加数（区分変更も含む）」であり、「システム更新」は含まれない

(2023年3月末現在)

## 医療システムユーザー数の推移



## 1施設あたりパッケージ導入平均件数



※2018年度診療報酬改定に伴い、大規模病院の定義が500床以上から400床以上へ見直しされたため、2023年より400床以上で算出  
ただし平均パッケージ導入件数の計算においては大規模病院の定義を500床以上としている

※2021年通期決算発表分より、売り切り製品（サポートフリー製品）を含めずにユーザー数を算出

※増加数は「新規ユーザーの純粋増加数（区分変更も含む）」であり、「システム更新」は含まれない

